

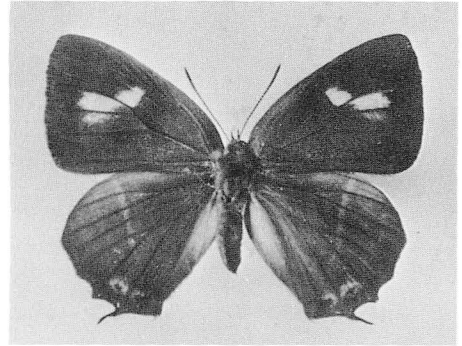
メスアカミドリシジミ雌の斑紋

花岡 正

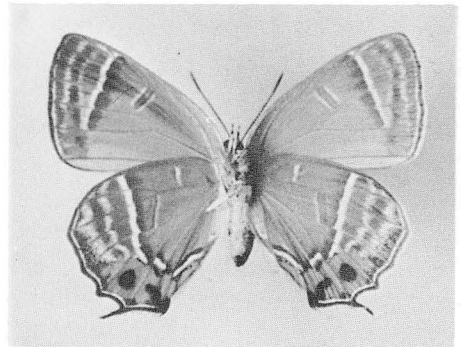
メスアカミドリシジミの雌の前翅表の赤褐色斑は、クライン現象を示し、北海道産から、西南日本産にかけて小さくなり、九州産では一部消失する個体も出らしい。県下の個体の斑紋のタイプを、宍粟郡一宮町の福知、草木の両地区の個体で調べ、得た結果を報告する。

調べた雌の総数は21頭、変化のタイプは写真①②③の3タイプ。③のタイプは②と上翅の斑は同じだが、後翅にも2対赤褐色斑が出現しているので別タイプにした。頭数は①が10頭、②が8頭、③が3頭、それと興味をひくのは、写真④のタイプである。赤褐色斑が上翅外縁内側の白帯沿いと、後翅肛角部の斑の他にもう1対出現、斑はもちろん発達の多少は有るが、①②③のタイプから各3頭ずつあった。

最後に唐土洋一氏と米村和繁氏の貴重なデーターをいただき感謝いたします。



(Col 一宮町福知 13-V-1979 Bred)

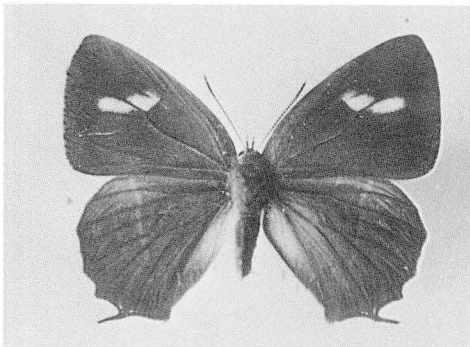


(写真③の裏側)

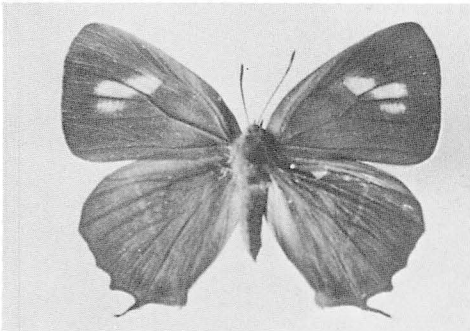
参考文献

川副昭人・若林守男(1976) 原色日本蝶類図鑑
保育社、大阪

(S.19 : Tadashi Hanaoka 姫路市)



(Col 一宮町福知 14-V-1979 Bred)



(Col 一宮町福知 13-V-1979 Bred)

イッシキキモンカミキリが灯火に飛来

相坂 耕作

宍粟郡の引原ダムに於て夜間採集をしていたところ午後9時頃にイッシキキモンカミキリが水銀灯に飛来してきた。比較的珍しい種類の飛来なので一応記録に留めておく。尚同日はカミキリ飛来が多くタカサゴシロカミキリ、シロスジカミキリ、ハンノアオカミキリその他サビカミキリ類16頭も飛来してきた。

(S.05 : KOUSAKU AISAKA 姫路市)